

A. 主な動き

1. 内政

▼ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追

・18日及び22日、キエフ市ペチェルスク裁判所は、ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追の審議を実施。クレイェフ裁判官は、18日、審議妨害等を理由に、グラセコ弁護人の同日以降の2009年対露ガス価格契約に関する審議への参加の権利剥奪、及び、BYT議員1名の退出を命令。ティモシェンコ前首相側弁護人は、22日に読み上げられた検事調書が事前に被告側に渡された文面とは異なる旨指摘。

・19日、グラセコ弁護人(BYT議員)は、欧州人権裁判所において、本件に関する提訴に特別なステータスが与えられ、裁判プロセスが短縮される可能性に言及。

・21日、クジミン検事総長代行は、ティモシェンコ前首相がホテル、レストラン等で「Somolli Enterprises」社名義のクレジットカードで1億ドル以上を決済していた旨公表し、露ガス価格契約で私腹を肥やしていた可能性がある旨指摘。

▼その他の刑事訴追

・19日、検事総局は、ヴォルハ金融サービス市場国家規制委員会委員長を汚職(50万ドルの収賄容疑)の疑いで拘束、拘留所に移送。20日、キエフ市ペチェルスク裁判所はヴォルハを2ヶ月間拘留することを決定。ヴォルハ委員長は2010年3月22日、ウクライナ共産党枠で現職に任命。

・ニューヨーク南部地区裁判所は、ティモシェンコ前首相が詐欺、人権侵害及び強要容疑スイス企業「ロスウクルエネルゴ」及びその共同経営者であるフィルタシュを提訴していた裁判を9月9日まで延期することを決定。

・22日、クリミア自治共和国検察は、パヴリウク・オデッサ商業港長を職権濫用容疑で逮捕。17万フリヴニャ(約2万1000ドル)以上をホテル「オデッサ」の改修経費として不正支出した容疑。政治学者ズィリヤンスキーのコメント:「パヴリウク港長はティモシェンコ前首相派の人物であり、地域党政権とは無縁。彼は2012年に予定されているオデッサ港民営化の妨げとなる恐れがあるので、排除された可能性有り。」

▼刑事訴追に対する懸念表明

・18日、チャヴシュオール欧州評議会議員会議(PACE)議長は、審議内容への干渉は避けるとしつつ、裁判プロセスは透明度が高く公正なものとすべきである旨発言。

・19日、クレーマー米国NGO「Freedom House」代表他2名は、野党政治家に対する刑事訴追は国内外の信頼を失うものであると指摘し、自ら墓穴を掘るのは止めるよう呼びかける旨のヤヌコーヴィチ大統領宛書簡を発出。これに対しゲルマン大統領顧問は20日、ウクライナに政治的訴追はなく、

ティモシェンコ前首相及びブルツェンコ前内相に対する訴追を過度に政治化しないよう呼びかけ。

▼大統領・政府の動き

・19日、モギリョフ内相は、ヤヌコーヴィチ大統領と会談。2010年8月のハリコフにて発生した報道関係者失踪事件等の捜査状況につき報告。

▼その他

・22日、ラズムコフ研究所が世論調査結果を発表。5月初旬のヤヌコーヴィチ大統領支持率は9.7%で、1年前の4分の1となり、これまでで最低の水準を記録。歴代大統領の中でも最大の支持率下落。現時点で大統領選挙が行われた場合のヤヌコーヴィチ候補の予想得票率は14.6%、最高会議選挙が行われた場合の地域党得票率は13.5%、野党得票率は22%。

2. 経済

▼マクロ経済

・20日、アザーロフ首相は、2011年上半年期のGDP成長率が、加工業、建設、エンジニアリング・化学製品の好調により、4.4%であったと発言。政府は2011年のGDP成長率を4.7%と予想。

・22日、EBRDは、2011年におけるウクライナのGDP成長率見通しを4.5%から5.0%、インフレ率見通しを7.8%から9.0%に修正。

▼政策

・20日、アザーロフ首相は、経済発展・貿易省、財務省及び地域発展・建設・公共サービス省に対して、2011年上半年期における国内の社会経済発展に関する詳細レポートの作成を指示。

・22日、アニシェンコ保健相は、2015年から2016年にかけて、国家医療保健制度を導入予定と発言。

▼農業

・18日、農業政策・食料省は、同日時点で、550万ヘクタールの耕作地(総耕作地の48%)から1,560万トンの穀物及び豆類を脱穀したと発表。

・21日、ブリシャジュニク農業政策・食料相は、現時点の収穫状況を踏まえると、今年の穀物収穫量は4,700万トンを上回る見込みである(2010年収穫量は3,930万トン)、したがって2,300万トンの輸出が可能と発言。

▼その他

・18日、国税局は、通貨流通の10~17%は闇経済と見積もられる、不正ビジネスによる利益取得が大きい地域はドニプロペトロフスク、ハリコフ、オデッサ及びキエフと発表。

・18日、コレスニコフ副首相兼インフラ相は、我々はキエフとロシア国境地を結ぶ必要がある、このため、キエフ・ドニプロペトロフスク間の高速道路建設を計画する予定と発言。
・21日、インフラ省は、2011年9月1日より、ボリスポリ空港の国内線ターミナルをAターミナルからBターミナルに変更することを計画中と発表。

▼ガス問題

・19日、アザーロフ首相は、ウクライナの主要ガス・パイプライン「ウレンゴイ・ボマリ・ウジゴロド」の近代化作業の第1段階開始に関する式典に参加。
・19日、ナフトガスは、ウクライナのガス輸送システム近代化に対する約3億ドルの資金供与に関する文書を欧州復興開発銀行及び欧州投資銀行と署名。
・20日、エネルギー・石炭産業省は、本年第3四半期の露天ガス輸入価格は、第2四半期の1,000立方メートルあたり297ドルから19.2パーセント上昇し、354ドルとなる旨発表。

3 . 外政

▼17～18日、グリシチェンコ外相のブリュッセル訪問
・17日、グリシチェンコ外相は、シコルスキ・ポーランド外相と会談、ウクライナ・EU連合協定交渉の進捗状況、ウクライナの欧州統合プロセス、国際情勢等につき協議。
・18日、グリシチェンコ外相は、ウクライナの欧州統合を支持するEU内の「ウクライナ・フレンズ」グループ会合に出席。グリシチェンコ外相は、ウクライナの将来的なEU加盟の展望がウクライナ社会には必要である、右展望が連合協定本文に盛り込まれるよう強く求めていく旨強調。
・18日、グリシチェンコ外相は、デ・グフト貿易担当欧州委員と会談。双方は、9月末に開催される予定の東方パートナーシップ・サミットまでにEU・ウクライナ間の深化した包括的FTA交渉を終了させる意向を改めて確認。

▼その他

・19日、閣僚会議は、ピャートニツキー前経済次官を欧州統合問題担当政府全権に任命。

4 . 防衛

▼18～20日、NATO軍事代表団公式訪問

・18日、国防省は、ウクライナとNATOの協力関係の現状と発展見通し及びウクライナ軍の運用能力向上策について議論する旨発表。
・19日、外務省は、NATO指揮下における多国籍演習及び平和構築活動へのウクライナの参加可能性について議論した旨発表。
・19日、国防省は、特殊作戦部隊の創設について発表、NATO軍事代表団との会談で議論した旨言及。
・20日、国防省は、ウクライナ軍改革のためのコンサルタントとしてNATOと米軍から2人の軍曹をウクライナ国防省に派遣する可能性について議論した旨発表。

▼ウクライナ・ポーランド・アメリカ合同演習「安全な空—2011」

・18日、ウクライナ・アメリカ・ポーランド合同演習「安全な空-2011」が開始。ニキフォロフ空軍航空第一副司令官は、本演習が来年度開催される欧州選手権EEURO-2012のホスト国であるウクライナとポーランドにとって非常に重要である旨発言。

▼その他

・18日、輸出管理庁は、2010年度のウクルスベツエクスポート社の武器輸出額が9億5,670万ドルに達した旨発表。主な取引先はスーダンとコンゴ民主共和国等アフリカ諸国。
・19日、START-1に基づくSS-24大陸間弾道ミサイルからの固体燃料処分のための設備費として400万グリブナを支出。

(了)